

# 小児科

## (1) 一般目標

厚生労働省卒後臨床研修目標の達成に努める。

新生児から中学生までを扱う小児科の特異性を理解し、小児科特有な疾患についての基礎的知識を習得し、診療に参加する。

## (2) 行動目標

- ① 小児科の具体的な行動目標は「行動目標と評価」の項を参照。
- ② 生理的所見と病的所見の鑑別を含み、小児の診察ができ、記載できる。
- ③ 小児痙攣性疾患・小児ウイルス性疾患・小児喘息・小児細菌感染症疾患 等の入院患者を指導医と共に診療する。
- ④ その他。

## (3) 研修スケジュール

専門指導医のもと、外来研修、病棟研修の研修を行う。

外来研修は、原則として週日の午前に行い、プライマリケア、乳幼児健診（成長と発達、健康児の観察）、保護者の心理の把握等を研修してもらう。

また、病棟研修については週日の午後を予定しているが、ここでは総合診療チーム医療、基本的診療（診断・検査・治療）、基本的手技、病棟感染、小児薬用量と使用補液療法等を指導医のもと研修を予定している。